

大楽寺の由緒

開基のころ

開基は寛仁三年(一〇一九)と伝えられていますが、定かではありません。しかし、寺の境内から出土した板碑(供養のために石でつくった碑)により、鎌倉時代には、すでにこの地に寺があったと思われます。

鎌倉時代から室町時代

大楽寺は極楽寺と呼ばれ寺運勢大、七堂伽藍の整った美しい道場であり、現在地より二〇〇m位ほど南まで境内があったと伝えられています。

戦国時代のころ

小田原北条氏の軍勢が闇夜の中この地を行軍する際、寺に火を放ち道を照して通ったことや、徳川二代将軍秀忠が自分の子供の健康を祈って経文一卷と朱印を奉納し、葵の定紋の使用が認められたことなどが伝えられています。



仏説護諸童子陀羅尼經 徳川秀忠奉納巻物

戦後の大楽寺

昭和二十年四月十五日の米軍の大空襲により本堂・書院・山門・庫裏等が消失、昭和三十年に木造本堂が建立され、更に昭和四十八年四月に現本堂が再建、昭和六十三年四月二十九日には楼門ならびに鐘楼が、平成六年十一月六日には蒲田不動尊が大楽寺境内に建立されました。



かまたぶどうそん だいらくじ
蒲田不動尊 大楽寺

144-0054
東京都大田区新蒲田3-4-12

電話・Fax 03-3738-1660

電車・JR京浜東北線より

JR蒲田駅西口下車、01番郷土手行き東急バス
道塚小学校前下車

電車・京浜急行線より

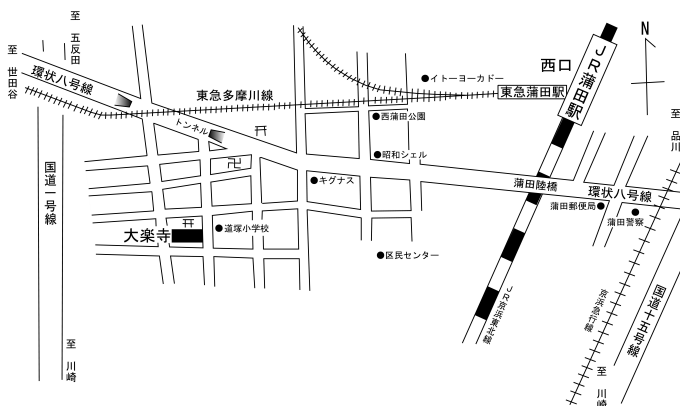
六郷土手駅下車、01番蒲田西口行き東急バス
道塚小学校前下車

車・国道一号線(第二京浜国道)より

環状8号線をJR蒲田駅方面へ向かい、東急多摩川線下のトンネルをくぐり、信号一つ目を右折、信号一つ目を右折、信号一つ目を左折すると左に道塚小学校。右に大楽寺

車・国道15号線(第一京浜国道)より

環状8号線をJR蒲田駅方面へ向かい、京浜急行線を越え、JR京浜東北線を陸橋で跨ぎ、信号三つ目を左折、信号一つ目を右折、信号一つ目を左折すると左に道塚小学校。右に大楽寺



真言宗智山派 蒲田不動尊

大楽寺



玉川八十八カ所霊場 第六十七番札所

東海観音三十三カ所霊場 第十二番札所

大きい楽しい寺

蒲田不動尊 大楽寺

本堂



会館



鐘楼
不動堂

書院

